

JAきたみらい

おうちま サタダ

2018



vol.188

9

はいっ ポーズ!

《端野地区・一区》

井上貴博さんと亜愉美さん・

貴翔くん・愉遥ちゃん

(紹介は2ページです)

特集

- 高知県高校生来訪 きたみらい農業を体験!
- 第68回北見管内総合家畜共進会
- ストップ農作業事故～家族で考えてみよう～



加工用スイートコーンの収穫

季節の薫り



8月下旬、基幹作物が各地域で順調に収穫される中、訓子府、置戸地区では続々と加工用スイートコーンの収穫が始まりました。

今年度は5月10日から播種作業が始まりました。天候に恵まれたこともあり順調に作業が進み、適度な気温と降雨があったことできれいに発芽しました。6月から7月上旬にかけての低温の影響を受けたものの、7月中旬からの高温によって生育は上向きました。

今年はきたみらい全体で95戸約400ヘクタール作付けしており、収穫されたスイートコーンはこのあと、北海道クノール食品株式会社の訓子府工場で加工され、最終的にコーンポタージュとして販売されます。

収穫作業は8月28日から開始され、10月上旬頃まで行われる予定です。

(菊池 光祐)

写真は8月29日、訓子府地区福野の鳥山博司さんのほ場で撮影。ハーベスタを使い収穫作業を行っている様子です。

もくじ CONTENTS

特集1	高知県高校生来訪 きたみらい農業を体験！	4
特集2	第68回 北見管内総合家畜共進会	6
特集3	ストップ農作業事故 家族で考えてみよう！	7
○表紙紹介	「たくましく、みんなに愛される子になって」	2
○季節の薫り		2
○地域だより		8
○ほのぼの広場	・きたみらい青年部 ・記念の一枚 ・プリティーウーマン ・大きくなったら	10
○JAからのお知らせ		12
○おひさまサダクッキング	「きのこたっぷり和風ハンバーグ」 「いろいろなきのこのマリネ」	22

表紙紹介

たくましく、みんなに愛される子になって

井上家を訪ねると元気いっぱいのおばあちゃんを迎えてくれました。お父さんが大きな車を運転する姿に憧れて、「大きくなったら農家になる！」と宣言する貴翔くん。つなぎを着たら、小さくても立派な「農家」です。

後から姿を見せにくれた妹の愉運ちゃん。慎重派のお兄ちゃんと比べ、お母さん曰く「肝が据わっている」とのこと。お家で作っている玉ねぎもパクパク食べるそう。家族のみなさんも嬉しそう。カメラを向けるとかわいくポーズして、周りを笑顔にしてくれます。

二人の名前にはお父さん、お母さんの漢字を使いました。貴翔くんの名前の読みは「たかと」と悩んだ末、出生時の体重が四〇〇g近くのビックベビーだったこともあり、なかなか見かけない「きつと」にしました。一方、愉運ちゃんの名前は女の子らしいかわいい響きとのびのび育ってほしいとの思いから名付けたそうです。

家族に見守られて成長する二人。お父さんとお母さんは「たくましく、みんなに愛される子に育ってほしい」と願っています。

(石井 睦美)



【ご家族紹介】
前列左から～おばあちゃんの二美子さん(67)、長男の貴翔くん(3)、ひいおばあちゃんのトミさん(89)、おじいちゃんの孝雄さん(70)
後列左から～お母さんの亜愉美さん(32)、お父さんの貴博さん(41)、長女の愉運ちゃん(1)
井上貴博さん【(有)井上農園】は玉ねぎ、てん菜など約16%を作付けしています。



高知県高校生来訪 きたみらい農業を体験！

7月24日から29日までの6日間、JAきたみらい管内5戸の農家のもとで高知県内4校の高校生7人が、農業体験学習を行いました。

平成30年度インターンシップ推進事業「夏の北海道大規模農業体験学習」



▲バンカーサイロの開封作業をする木下くん(左)と竹正くん(右)

高知農業高校（畜産総合科）

きのした みずき
3年 木下 瑞貴さん

北海道で動物関係の事を学びたく、今回参加しました。研修では飼養管理の専門的な事を学び、搾乳や給餌、清掃、徐糞などをしました。特にわらを敷くのが大変でした。

実習を通して、北海道の人のやさしさに触れ、人として成長できました。

今回研修に参加したことで、将来のビジョンを描くことができたので、今後は動物系の仕事を将来の進路として考えています。

高知農業高校（畜産総合科）

たけまさ しょう
3年 竹正 翔さん

高知県と北海道の酪農の違いを見て、北海道の酪農を体験したく、今回参加しました。

研修では搾乳やエサの作り方を学び、他の牧場の見学もしました。北海道の酪農は高知県と飼養管理の方法や施設の仕様も違ったので覚えることがたくさんあり大変でした。

酪農は大変な仕事だけど、搾乳などいろんな事を学ぶうちにすごく楽しくて面白いと思いました。

来年、北海道に進学する予定なので、今回、学んだ事をより生かしていけるようにして勉強していきます。

木下くん、竹正くんの受入農家は温根湯地区・大和の伊藤俊弘さんです。



▲木下くん、竹正くんと受入農家の伊藤さんご家族



▲牛舎の掃除をする塙さん(左)と室津さん(右)

高知農業高校（畜産総合科）

はなわ こころ
2年 塙 心愛さん

小学生の頃から畜産業に携わりたと思っていたので、専門的な内容を学べるこの実習に参加しました。

牛の餌やり、掃除、羊の世話などを体験しました。おがくずの袋詰めは、何度も休憩をしながら行いました。朝にこの作業をすると疲れることが多く、その後の仕事も大変でした。

休みもなく、大変な仕事ですが、とても達成感があると感じました。楽しいこと、辛いことの両方が学べたので、この体験を今後の進路に繋げていきたいです。

はた
幡多農業高校（アグリサイエンス）

むろつ めい
2年 室津 芽衣さん

授業で習えないような、北海道ならではの酪農を学びたいと思い参加しました。

体験したのは、仔牛の独房の掃除や、寝床にわらやおがくずを敷く作業、搾乳などです。朝早く起きたり、力仕事が多かったのは大変でしたが、実習中にお産に立ち会うことができ、出産はどの動物も命がけなんだということを実感しました。

今回の体験を今後の進路選択に役立てていきたいと思っています。そして、機会があればまた北海道の農業を体験したいです。

塙さん、室津さんの受入農家は、置戸地区・常盤の田中眞さんです。



▲塙さん、室津さんと受入農家の田中眞さん

トマトの選別作業をする
川谷くん



▲川谷くんと受入農家の柳瀬さんご家族

高知農業高校（農業総合科）

かわたに ゆうほ
2年 川谷 悠歩さん

北海道と高知県の農業の違いについて学びたく、今回参加しました。

研修では、トマトの収穫と選別、玉ねぎの葉分けなどを行いました。特に玉ねぎの葉分けには苦労しました。

実習を通して、北海道の農業は機械での作業がほとんどだと思っていましたが意外と手作業で行うことがあるということに驚きました。

今後は今回の経験を活かし、北海道の進学を視野に入れて進路選択をしていきたいと思います。

川谷くんの受入農家は、上常呂地区・上ところの柳瀬昌弘さんです。



玉ねぎの根切り作業をする
窪田くん



▲窪田くんと受入農家の小川さんご家族

くぼかわ
窪川高校（農業コース）

くぼた そうすけ
3年 窪田 宗祐さん

北海道での農家実習は中々体験できることではないと思い、昨年に引き続き今年も参加しました。

研修では、オニオンハーベスターが通れるように玉ねぎを移動する作業や、ベルトコンベアに流れるよう中央に置く作業を体験させてもらいました。

夏の北海道大規模農業体験学習に参加するのは二度目ですが、改めて畑が広いと感じました。北海道の農家の方々はめげずに作物を育て、収穫作業まで行っていてすごいなと思いました。

今後は農業大学校に進学する予定なので、この実習体験を通して学んだ事や人との関わり方で得たものを活かし、立派な農家になりたいです。

窪田くんの受入農家は、端野地区・二区のおがわ百商(株)です。



玉ねぎの葉切り作業をする
永井くん



▲永井くんと受入農家の中秀一さん

春野高校（総合学科）

ながい たかや
3年 永井 孝弥さん

北海道と高知県の農業の違いや、以前、訪れたことのあるオランダ農業との比較をたく、今回参加しました。

実習では玉ねぎの収穫、じゃがいもの収穫、玉ねぎの葉分けなどを行い、しゃがんで作業することが多いため、腰が痛くなりました。また、実習でベコロスの収穫を行いました。規格上3cmのものしか収穫できないということに驚きました。

今後、自分が農家をするときには、北海道農業のように機械を取り入れた経営をめざしたいです。

永井くんの受入農家は、端野地区・協和の(有)中農場です。



自慢の牛を出品

きたみらいから47頭

〔第68回 北見管内総合家畜共進会(乳牛の部)〕

ホクレン北見支所は8月25日、訓子府町の北見管内畜産総合施設で、第68回北見管内総合家畜共進会を開催しました。管内各地から110頭が出品され、体型や資質の優劣を競い合いました。

当JAからは47頭を出品。審査員は陸別町の酪農家、編田尚弘さんが務めました。同共進会の上位入賞牛は全道共進会(乳用牛部門)への出場権を得られるということもあり、出品牛が美しく見えるように出品者は入念に手入れを行い挑みました。審査の結果、当JA出品牛からは17頭が1等に入賞しました。



9月22日と23日に安平町で行われる第17回北海道総合畜産共進会(乳用牛部門)には当JAより26頭が出場する予定です。

きたみらい1等入賞牛 (敬称略)

部	序列	名 号	地区名	出品者
1部	1等1席	ヨシノファーム ヒカリ スカーフ	北 見	吉野 英之
2部	1等1席	DH メイク ドア ET	北 見	山内 誠
3部	1等2席	ヨシノファーム シナモン	北 見	吉野 英之
4部	1等1席	ロイヤルクイーン クラツシュ ミニヨン ジャグラー	訓子府	稲辺 祐也
6部	1等1席	DH ナショナル パーバー	北 見	山内 誠
6部	1等2席	パーチヒル アトリー エンピアス	訓子府	渡辺 重明
J2部	1等1席	DH スカツチ ソマモン	北 見	山内 瑞穂
9部	1等1席	エリー バリアント エンジェル チャン	訓子府	森岡えり子
9部	1等2席	パーチヒル マツカチエン チャリテイ	訓子府	渡辺 重明
9部	1等3席	パレルファーム サラ バンダ バンダ	上常呂	(同)パレルファーム
10部	1等1席	パレルファーム ドアマン ジャグラー ET	上常呂	(同)パレルファーム
12部	1等1席	クレイジヤスクール キングブーン	置 戸	(有)小山牧場
12部	1等2席	DH ローズ チップ	北 見	山内 誠
13部	1等1席	ロツクウ ビービー アイカム	北 見	(有)上野牧場
13部	1等2席	クリスタルK マウンティン チップ	置 戸	小建 一彦
15部	1等1席	DH オット ダツシュ	北 見	山内 誠
16部	1等1席	クレイジヤスクール バンク キング	置 戸	(有)小山牧場

各部チャンピオン (敬称略)

チャンピオン	名 号	農協名	出品者
ジュニアカップ・チャンピオン	DH スカツチ ソマモン	きたみらい	山内 瑞穂(高2)
R・ジュニアカップ・チャンピオン	シツク MS ゴールド ドア ET	えんゆう	竹内 樹来
ジュニア・チャンピオン	DH ナショナル パーバー	きたみらい	山内 誠
R・ジュニア・チャンピオン	ピクトリア ソロモン レアリティー	はまなす	永峰 勝利
インターミディエイト・チャンピオン	クレイジヤスクール キングブーン	きたみらい	(有)小山牧場
R・インターミディエイト・チャンピオン	ロツクウ ビービー アイカム	きたみらい	(有)上野牧場
シニア・チャンピオン	オークリーフ スパークリング アピール	津 別 町	(株)柏葉牧場
R・シニア・チャンピオン	クレイジヤスクール バンク キング	きたみらい	(有)小山牧場
グランド・チャンピオン	オークリーフ スパークリング アピール	津 別 町	(株)柏葉牧場
R・グランド・チャンピオン	クレイジヤスクール キングブーン	きたみらい	(有)小山牧場



▲R・グランド・チャンピオンに輝いた「クレイジヤスクール キングブーン」号(左)と小山勇樹さん



▲審査員を務めた編田尚弘氏

ストップ農作業事故

〜家族で考えてみよう〜

本格的な収穫シーズンに入りました。農業は危険と隣り合わせの仕事です。毎年、秋になると農作業事故が多発してきます。また、農業の死亡事故リスクは、危険と言われる建設業を大幅に上回ります。

なぜ、農業には死亡事故が多いのでしょうか。それは家族経営が主体で事故防止対策が不十分だからです。他産業ではヘルメットを被り、作業の手順を共有し、事故防止に努めて事故件数を減少させています。

農業は家族経営で「報告義務が無い」「労働安全衛生法の適用外」「安全確保が自己責任」「個々の安全作業の取組が未確立」などが理由に挙げられます。

事故原因の多くは一瞬の不注意や油断です。家族が各々分かっていて思い込んでいるから油断が生まれるのです。農作業事故は他人事でありません。

もう一度、家族で一緒に考えてみませんか？

● 農作業事故はなぜ起きるのか 機械的要因

- ① 防護装置・安全カバー等の取り除き
- ② 自己流の改造、不完全な修理
- ③ 安全装置の取除き・未使用
- ④ 機械の用途以外の使用

- 人為的要因(不注意と慣れ)
- ① エンジンをつけ、作業機を揚げ、PTOを回した状態での修理や掃除など。
- ② 基本操作・手順を守らない。
- ③ 不適切な服装(開いた袖口、服のダブツキ)
- ④ 機械から前向きで降りる。
- ⑤ 機械から降りる時にジャンプする。
- ⑥ 作業機操作側と作業員の連携不足

事故原因はここに挙げきれないほど数多くありますが、何か心当りはありませんか？
単なる「気を付けましょう」は意味がありません。



低速車マークと反射シートの装着イメージ

灯火の装着	装着の条件
	全ての自走・けん引作業機 トラクタの尾灯等を覆い隠す直装作業機
	前照灯等から40cm以上突出する全ての作業機(前後両方向) 前照灯か車幅灯は最外側から40cm以内にあること

灯火の装着図解例

事故を減らすためには、「動かすぞ」など声掛けを行う。作業毎に合図や手順を決める。作業機まわりの人に作業機が動いている時は無理な行動を取らせないなど、具体的に危険因子をひとつずつ取り除くことから始めましょう。

Ⅱ. 農作業事故の弊害

- ① 作業が遅れる
 - ② 収入が減る
 - ③ 障害が残る、日常生活に支障をきたす
 - ④ 家族の負担が増える
 - ⑤ 離農になる
- 農作業事故は誰も幸せになりません。

Ⅲ. 低速マークや尾灯を装着しよう
これからは、日没がどんどん早くなり、トラクター後部の作業機に一般車両が追突する危険性が高まります。

毎年、きたみらい管内でも一般車両が作業機を装着したトラクターに追突する事故が発生しています。いずれも、暗い時間帯で尾灯や反射板が一般車両から見えにくい状況でした。

通常、ドライバーは暗闇にトラクターが潜んでいると想定していません。発見されやすい装備で、追突事故を未然に防ぎましょう。

きたみらい管内では8月2日から7日にかけて秋まき小麦の収穫が行われました。温根湯地区では炎天下の中、順次作業が開始され、大型コンバインの大きなエンジン音が鳴り響きました。今年は6月下旬から7月上旬にかけての曇天・長雨により、生育が遅れたことから不安ではありましたが、7月下旬からの30度を超す天候に恵まれ、きれいな小麦色に染まり無事収穫を迎えることができました。

きたみらい麦作振興会の西野繁会長は「今年は天候不順により、今までにないくらい生育が遅れ非常に心配したが、品質や収量も思っていたより良く収穫作業も無事終わることができたので安心した」と話してくれました。

きたみらい管内の春まき小麦の収穫は、8月11日から始まり21日に無事収穫を終えました。（大橋 弥生）



▲温根湯地区での秋まき小麦の収穫作業の様子

西地域 温根湯 **大型コンバインが
鳴り響く**
～小麦の収穫、無事終了～



▲白熱した戦いをみせるウォーターロデオの出場者

東地域 端野 **お笑いステージやウォ
ーターロデオで賑わう**
～たんの太陽まつり開催～

8月26日、端野メルヘン広場で端野の夏の一大イベント「第41回たんの太陽まつり」が開催され、一般市民らの出店や焼肉を囲む大勢の家族連れなどで賑わいました。

恒例のお笑いライブには北見出身の芸人、丸山礼さんと人気お笑いコンビ、にゃんこスターが出演。観客の子どもたちもステージにあがり、一緒にものまねをしたり、踊りを踊って会場を盛り上げました。

特設プールに渡した丸太の上に乗し、発砲スチロール製の棒で戦うウォーターロデオでは、小学生の部、中学生の部、大人の部の3部門に29チームが出場。

選手がプールに落下するとギャラリイから歓声と拍手があがり、会場は笑顔で包まれました。（石井 睦美）



地

域

だ

よ

り



訓子府地区事務所で8月22日、種子馬鈴しょの目揃え会を開催し、生産者13人が参加しました。この目揃え会は収穫が本格化する前に生産者の目線を合わせることで、きたみらい産種子馬鈴しょのブランドを守って行こうと毎年この時期に開催されています。

開催にあたり訓子府町種子馬鈴薯耕作組合の長尾昭嘉組合長が「来年、一般馬鈴しょの生産者の皆さんに“無病均質”な種子馬鈴しょを届けるため、今回の目揃え会でしっかりと勉強し収穫にあたってほしい」と挨拶されました。JA担当者より、今年の生育状況や一般馬鈴しょの販売状況、今後の収穫作業の注意点では今年は雨が多いので、収穫後の種子馬鈴しょを十分に風乾させてほしいと説明がありました。

説明後は選別目合わせを行い、生産者の皆さんは実際のサンプルを比較しながら、熱心に説明を聞き、細かな部分に関しては質問が出され、収穫を目前に控え気を引き締めていました。

（北島 太）

南地域 訓子府 **健全な種子馬鈴しょ
を生産**
～収穫を前に目揃え～



▲目揃え会で説明を受ける耕作者の皆さん

西地域 相内 **温根湯小、小麦乾燥
調製貯蔵施設を見学**
～初めての体験に驚きの声～



▲JA職員の説明に耳を傾ける児童

北見市立温根湯小学校は8月22日、西相内にある当JAの小麦乾燥調製貯蔵施設を見学しました。JAきたみらいでは、小学校の社会科総合学習における地域産業を学ぶ食農教育の一環として、市内小学校の児童を対象に、農業生産施設の見学受け入れを行っています。温根湯小学校の児童は毎年、同施設の見学を行っています。

当日は4・5年生12人の児童が訪れ、きたみらい地域の農業や小麦についての話、施設内を見学をしました。児童たちは、施設の規模の大きさに興味を持ち、「すごい!」「こんなにでっかい施設で小麦の受け入れをしているんだ!」など驚く声が上がっていました。

見学後の質問タイムでは、「乾燥調製した後はどこにいくんですか?」など多くの質問にJA職員が分かりやすく答えました。（菊池 光祐）

きたみらい 青年部

●最近、思うこと

20代の頃に比べ、体力が落ちたと感じます。
農家は体力勝負なので、体力をつけたい…。

●今の楽しみ

姪っ子二人と過ごす時間が楽しみです♪

●農業にける思い

白花豆生産者として、消費者に白花豆を広く知ってもらい、
沢山食べてもらいたいです。

手間のかかる作業が多く大変ですが、生産日本一の誇りを
もって耕作していきたいです。

●青年部に対して

これからの大きな行事では「本部主催 学習会」が控えてい
ます。作業も落ち着いた時期の開催となりますので、積極的
に参加してほしいです。

今回はJAきたみらい青年部監事の児玉友和さんに登壇い
ただきました。(織田 和訓)



誇りをもって

温根湯地区・昭栄

こ だま ともかず
児玉 友和さん(33歳)

プリティ ウーマン



いろんな人と話したり 新しいことを知れるのが楽しい!

温根湯地区・大和

い とう さとみ
伊藤 里美さん(37歳)

今回はフレッシュミズ西支部の伊藤支部長に登壇
いただきました。(石井 睦美)

◆出身、結婚に至るまでは?

新得町の出身です。帯広大谷短大に通って
いた時、農業大学の学生だった夫と知り合
いました。卒業後は夫の近くで働こうと思い、
温根湯のホテルに就職。10年の交際を経て
2011年に結婚しました。農業の経験はなかつ
たのですが、結婚の1年くらい前から、自分
の仕事が休みの日に夫の実家を手伝って徐々
に酪農業に慣れていきましたね。

◆自身の性格は?

自他ともに認めるマイペースです。私ほど
ではありませんが夫もそうなので、結婚も、
本人たちはタイミングがきたら…くらいに考
えていました。周囲のほうがやきもきしてい
たようです(笑)

◆フレッシュミズ活動のいいところは?

頻繁にフレッシュミズ活動に出るようにな
ったのは最近になってからです。今までは、
外出先でたまたま会った人と会話するくらい
でしたが、活動に出るといろんな人と話すこ
とが出来て楽しいです。もっと早く活動に出
ていればよかったなと思いましたね。

◆今後の抱負は?

フレッシュミズ活動などで勉強会をしてい
ますが、自分の家以外のやり方や、新しい情
報が知れて楽しいですね。これからも参加し
て見聞を広めたいと思っています。



置戸地区・川南

わたなべ そう た
渡邊 蒼太くん(10歳)
れ み
玲美ちゃん(7歳)

大きくなったら

「お父さんの後を継ぎたい!」(蒼太くん)

お父さんと一緒に畑仕事をやってみたいです!

「ユーチューバーになりたい!」(玲美ちゃん)

好きなチャンネルでやっている、ゆっくり実況をやっ
てみたいです!

蒼太くん、玲美ちゃんは渡邊健太郎さん、美和さんのお
子さんです。

蒼太くんはこれから算数の勉強を頑張りたいと意気込
み、玲美ちゃんは泣き虫だからすぐ泣かないようにし
たい!と宣言していました。優しいお兄ちゃんと活発な妹。

取材中も二人はお互いの日常を暴露したりと、普段か
ら仲が良い兄妹なのだと見受けられました。

(大橋 弥生)

記念の一枚



▲陸橋から訓子府市街に向けて撮影
左から小松寿治さん、次男の樹斗(みきと)君、
長男の右京(うきょう)君、長女の桐佳(とうか)さん

ふるさと銀河線をまたぐ 道道50号線の陸橋

～陸橋の頂上から町を一望～

訓子府地区・西富

こ まつ としはる
小松 寿治さん(46歳)

この写真は平成25年に撤去された訓子府町西富に
あった陸橋の上から家族と撮影したものです。陸橋
は小松さんの自宅から約500m東側にあり、撤去前に
記念に写真を残そうと家族と撮影しました。

ふるさと銀河線は平成18年4月に廃線となり、こ
の陸橋は旧駅舎と同じく鉄路の記憶を残す存在で、
国鉄時代の昭和45年に建設され、踏切を渡らずに鉄
路を横断できるので、当時は画期的な橋だったと思
います。

小松さん子ども達も学校に通うために必ず通る
陸橋でよく自転車で渡っていたそうです。行くときは
情性をつけて意外と楽に渡れましたが、帰りは登
りがきつくて辛かったようです。小松さんによると
「登り切った頂上から眺める360°の景色は今でも
懐かしく思い返します。もう実際には見られないの
が残念ですが、写真に残っているので、いつかまた
大人になった子ども達とこの写真を見て思い出話を
したいと思います」と懐かしそうに語ってくれまし
た。(北島 太)

INFORMATION

～続・今こそJA～【第11回】JA北海道大会決議は決意の表れ

農協法改正法案の可決成立から約2か月後の平成27年11月11日、第28回JA北海道大会が札幌市内で行われました。全道から約2500名のJA組合員、役職員が参加し、大会決議が採択されました。大会議案は大きく3つの柱から成り立っており、その基本目標と具体的な実践方策によって構成されています。

特に従来の大会決議と大きく異なるのは、基本目標の中で「20%増大」「倍増」「550万人」といった数値目標を掲げたことです。数値目標の場合、実績と対比することで目標を達成しているかどうかを容易に判別できますが、目標を達成していないことも一目瞭然になります。あえて数値目標を導入したということはJAグループ北海道としての目標達成に向けた決意の表れとも言えます。

また、実践方策には「収益向上」「トータルコスト削減」など、改革プランに盛り込まれてい

第28回JA北海道大会議案

【議案第1号】

北海道550万人と共に創る「力強い農業」の実現
＜基本目標＞
協同の力で農業所得20%増大と新規担い手倍増を実現

【議案第2号】

北海道550万人と共に創る「豊かな魅力ある農村」の実現
＜基本目標＞
食と農を通じて北海道550万人とつながりを実現

【議案第3号】

基本目標を実現するための「各組織の取り組み」

る項目と連動した作りになっています。

今年11月に開催される第29回JA北海道大会では大会決議事項の総括が行われる予定です。JAグループ北海道が自己改革を本当に進めているのか、大会決議を守ることができるのか、その動向を国や報道機関など誰もが注目しているのです。

11月開催の第29回JA北海道大会に向けて組合員の声を反映させるため、9月末を期限とする組織討議を実施します。

原案には、前回大会で掲げたJAグループの将来ビジョン「北海道550万人と共に創る『力強い農業』と『豊かな魅力ある農村』の実現」に向けて、農業所得増大やサポーター550万人づくりの継続実施などを盛り込むほか、重要性を増す「協同組合の価値と実践」を新たに加えております。また、各JAにおける組織討議に加えて、組合員の皆さんから直接ご意見を提出いただけるよう、意見提出様式を公開しておりますので、ご提案を賜りますようお願い申し上げます。



JA北海道中央会



JAグループ通信

JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。

JA北海道大会決議事項の実践やその時々のトピックスなど、組合員の皆様に定期的にお伝えします。

各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトを「ご覧ください」。

ホクレン



北海道産牛肉を炭火焼きで楽しんでもらう「第2回北海道牛肉まつり in さっぽろ」が7月29日から8月1日の4日間、札幌パークホテル駐車場特設会場で開催されました。このうち2日目の30日には「北海道産牛肉応援PR大使」でグルメタレントのアンジエラ佐藤さんが登場。

北海道庁とホクレンの若手職員計5人を相手に「大食い競争」に挑戦し、会場から大きな歓声が上がりました。



JA北海道信連



8月に、JAとうや湖等の協力を頂き、小学生の親子を対象とした『旬食カレッジin洞爺湖』を開催しました。じゃがいもの収穫体験、地元産じゃがいもやミニトマト等を使った料理教室、JAによる講演等を実施し、道産野菜のおいしさや栽培のこだわりなど、食や農の大切さを伝えることができました。

参加者には「食に対する関心が高まり勉強になった」「また参加したい」など好評でした。



JA北海道厚生連



組合員ならびに地域住民の皆様と健康を守るため、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。

年3回発行しており、様々な医療・健康情報を発信しております。

ホームページにもバックナンバーを掲載しておりますので、是非「一読ください」。



JA共済連北海道



8月3日に札幌・共済ホールにて「全道JA・スマサポ大会」が開催され、平成29年度普及活動で優秀な成績を収められたJA22名と、スマイルサポーター15名が登壇し表彰されました。

JA共済では、これからも「3Q訪問活動」と「あんしんチェック（保障点検活動）」の実践を通じて組合員・地域利用者の信頼と期待に応え、「安心」と「満足」の提供に努めてまいります。



変わるJA 広がる地域のきずな

監修＝広島大学 助教 小林元

Q. JAの自己改革の成果はどうやって測るの？

A. JAの役職員が正・准組合員の全戸を訪問し、アンケート調査を実施します。

JAの自己改革は、第27回大会の実践期間が終わる2018年度をひとつの区切りとしています。組合員がどのように自己改革を「理解」し「評価」しているか、組合員の声を「見える化」しなくては、改革の次の段階に進めません。

そのため、JAグループでは初の取り組みとして、2019年に1000万人を超える全ての正・准組合員を対象としたアンケート調査を検討しています。全JAの役職員が正・准組合員の全戸を訪問。農産物の販売事業や生産資材の購買状況、営農指導への期待度や満足度、准組合員の事業利用度、総合事業の継続、信用事業の代理店化などについて、組合員自身の意思を明らかにすることになります。

JAの役職員は、組合員に直接向き合って、声を聴き、意見を交換します。JAの役職員にとっては、自らの言葉で組合員と対話する契機ともなります。アンケート調査で把握した改革の実績や評価を基に、全国のJAは2019年度からのさらなる取り組みを検討し、次期中期計画に活かします。



全組合員調査・全JA調査を巡る日程	
2018年末～ (期間は柔軟に設定)	全組合員調査・全JA調査 →実績や評価を把握し、各JAは次期中期計画を策定へ
19年3月	第27回JA全国大会の実施期間終了 各JAの自己改革工程表の区切り
5月	「農協改革集中推進期間」 (14年6月～5年間) 終了
9月	公認会計士監査の実施
21年3月	改正農協法による改革実施状況の調査期間 (16年4月～5年間) 終了

耕そう、大地と地域の未来。

550万人 サポーターづくり

INFORMATION

550万人 サポーターづくり

地元の農業を再発見！ 第11回きたみらい農業体験&見て歩きツアーを開催

JAきたみらいでは8月25日、きたみらい地域の農業を体験してもらい、農業や食の大切さについて関心を深めることを目的とした「農業体験&見て歩きツアー」を行い、今年で11回目の開催となりました。参加者は当JAが発行する一般消費者向け広報誌「ぐりん green」で募集し、5組11人の親子が参加しました。当日は、あいにくの雨模様で馬鈴薯の収穫体験は中止となりましたが、



▲▼選果場見学をする参加者の皆さん

参加者は東相内にある馬鈴薯選果施設で工場見学を行い、原料の受入れから選果の方法、出荷について担当者から話を聞きました。また選果ラインに大量に流れる馬鈴薯や段ボールを規格分けして積み上げるロボットの素早さと正確さに驚いていました。参加者からは「選果施設はどのくらいの期間稼働しているんですか？」「どの地域に出荷されているんですか？」など質問が挙がり、JAの



担当職員は一つひとつ丁寧に回答していました。見学後、当JAセンター事務所に移動し、馬鈴薯についての学習ビデオを上映。生産者がどのような作業を経て生産しているのかについて学習しました。最後には、バターをのせて「ふかしも」を試食。参加者からは「ホクホクしていてすごくおいしい！」「とても好評でした。」



▲食育DVDをみて馬鈴薯について学習する参加者の皆さん

じゃがバターの他にきたみらい牛乳も飲みました。これは子どもたちには大人気となり、有意義な試食会となりました。

▲最後に集合写真を撮影



家族で芋掘りを体験

「がぶりかるちゃー」に148組573人が参加

8月11日、今年で31回目をむかえる農業体験「がぶりかるちゃー」が開催され、北見市仁頃の田園空間情報センターの圃場で北見市内の家族148組、総勢573人が芋掘りを体験しました。

同事業は北見市、土地改良区、当JAのほか7団体で構成する「がぶりかるちゃー事業実施委員会」が主催。農業体験を通じて地域消費者に地域農業への理解を深めてもらい、



▲割り当てられた場所で芋を掘る参加者のみなさん

農村と都市との交流を通じて、ふるさとの活性化を図ることを目的としています。

参加した家族は1組3坪ほどの面積が割り当てられ芋掘りを体験。参加した子どもたちは芋の茎を力いっぱい引っ張って芋が出ると「うわー」と喜びの声を上げ、芋が傷つかないように手で丁寧に芋と土を掘り分けて収穫していました。



▲家族みんな笑顔で収穫

たくさんとれて楽しかった。お母さんと一緒にポテトサラダを作って食べたいです」と笑顔で答えてくれました。この日は曇り空で時折小雨の降る中でしたが、芋掘りには暑くもなくちょうど良い天候、家族一丸となった芋掘りに満足した様子で一組30kgほどの芋を持ち帰りました。



▲▼►収穫した芋を手に、はいっチーズ！



▲主催者を代表し、歓迎の挨拶をする舟山秀太郎実行委員長



JAからの お知らせ

INFORMATION

相談員だより

秋号
◆ 第7号 ◆

◆ 認知症 ◆ ～こんな症状に気づいたら相談を～

☆物忘れがひどい

- ・同じことを何度も言う
- ・いつも探し物をしている
- ・物を盗まれたと人を疑う



☆判断力・理解力が衰える

- ・計算、運転のミスが多くなった
- ・話のつじつまが合わない

☆時間・場所が分からない?

- ・慣れた道でも迷う
- ・約束の日時や場所を間違える



☆不安感が強い

- ・1人になると怖がったり寂しがったりする
- ・外出時、持ち物を何度も確かめる
- ・「頭が変になった」と本人が訴える



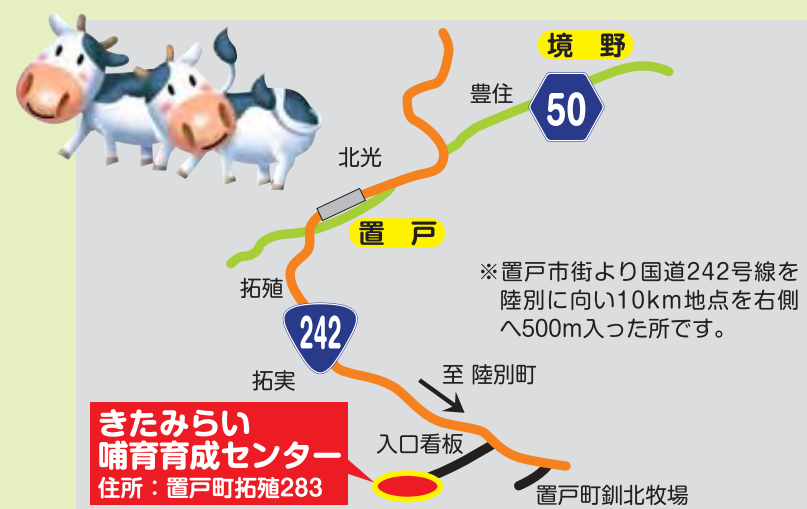
☆人柄が変わる

- ・些細な事で怒りっぽくなった
- ・自分の失敗を人のせいにする

☆意欲が無くなる

- ・身だしなみを構わなくなった
- ・ふさぎ込んで何をするにも億劫がる

認知症は**早期発見・早期治療**が進行を遅らせることにつながります。
気になる症状があれば受診をお勧めします。
受診先は「**物忘れ外来・精神神経科・脳外科**」など



- 価格は、当たり1,000円となります。（本体926円＋消費税74円）
- お渡し時期は10月20日～30日（申込受付9月25日～10月13日）
- 育成牛の堆肥です。未熟堆肥であることをご了承ください。
- 年間販売見込数量1,200㍓
- 分析値

水分	pH	EC	T-N%	P	K
88.17	8.58	7.53	0.31	0.183	0.345

購入を希望される方は電話にて申込願います。なお数量に限りがありますので、
先着順とさせていただきます。

合同会社 きたみらい哺育育成センター 電話：0157-53-2233
小林場長 携帯：080-1976-6329

きたみらい哺育育成センターで堆肥を
販売します。
きたみらい哺育育成センターまで取り
に来ていただける方を対象としています。

余剰堆肥の販売について きたみらい哺育育成センター



◀力投する菊池投手
(担い手G)

▲同点ランニングホーム
ランを放った畠山選手
(ふれあい南G)

◀サヨナラタイムリーヒット
を放った小野選手
(ふれあい畜産G)

J Aきたみらい野球部は7月12日・13日に行われた第60回オホーツク J A野球大会で11年ぶり4回目の優勝を果たしました。当 J A野球部は部員・マネージャー含め26人で活動をしており、J A大会前には週2回の練習を行って大会に備えました。13日の準決勝では、強豪の J Aオホーツク網走に初回5点を取るなど猛攻をみせ9-2、5回コールドゲームで勝利しました。勢いそのままに挑んだ決勝では、J Aオホーツク

はまなすとの対戦。7回まで1-2と劣勢だったものの8回裏に畠山選手（ふれあい南G）のランニングホームランで同点、2-2で迎えた9回裏に小野選手（ふれあい畜産G）のサヨナラタイムリーヒットで勝利を勝ち取りました。今回の優勝で9月18日・19日に行われる全道大会への出場権を得ました。今後とも、当 J A野球部への応援をよろしくお願いいたします！

第60回オホーツク J A野球大会で優勝！

～ J Aきたみらい野球部 ～

【2回戦】	※6回コールドゲーム							
チーム名	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	計
J Aサロマ	0	0	0	0	0	0		0
J Aきたみらい	0	0	0	1	5	1		7

【準決勝】	※5回コールドゲーム							
チーム名	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	計
J Aオホーツク網走	0	0	0	2	0			2
J Aきたみらい	5	0	0	0	4			9

【決勝戦】	チーム名	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回	計
J Aオホーツクはまなす	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
J Aきたみらい	1	0	0	0	0	0	0	1	1	3	3



▲優勝し、胸上げをする野球部員



▲ J Aきたみらい野球部の集合写真

INFORMATION

第7回 理事会報告

8月31日、午後1時30分より第7回定例理事会が開催され、報告事項18件、決議事項4件が協議され、原案通り承認されました。

【報告事項】

- ①監事監査（平成29年度産共計本精算）報告について
- ②内部監査（購買部門）報告について
- ③組合員状況報告について
- ④財務状況報告について
- ⑤平成30年度上半期収支実績及び決算見込について
- ⑥燃料手当の支給について
- ⑦反社会的勢力との取引排除にかかる既往顧客の定期確認結果について
- ⑧反社会的勢力との取引排除及び組織犯罪の防止にかかる対応状況について
- ⑨疑わしい取引の届出状況について
- ⑩ＪＡ共済コンプライアンス点検結果について
- ⑪平成30年度農地評価単価基準について
- ⑫7月3日停滞前線及び台風7号被害について
- ⑬作況調査（8月15日）報告について
- ⑭対策農家の上半期の状況について
- ⑮H30年度小麦の収穫及び品質状況について
- ⑯小麦なまぐさ黒穂病罹患圃への小麦作付について
- ⑰H30年度産玉ねぎ・馬鈴しょの販売状況について
- ⑱生乳生産状況及び個体取引価格状況について

【決議事項】

- ① 規程類の改正について
- ② 平成30年度夏期地区別懇談会 Q & A について
- ③ H30年産瀬原馬鈴しょの概算金について
- ④ 次期生乳計画生産対策に係る組織討議について



- 家の光(12月号・1月号)の申込書はFAXで送信いたしますので、
期日までにお申し込みください。締め切り：9月28日(金)
【お問い合わせ先】
JAきたみらい 担い手グループ(☎0157-24-2145)

 JA共済 JAの自動車共済 フリーダイヤル安心サービスのご案内

ご契約の自動車が事故や故障に見舞われたときは

ご契約のJA(業務時間内)もしくは
フリーダイヤル
安心サービス 
 24時間・365日対応

事故等の場合には
 JA共済事故受付センター
 ジ コ は ク ミ ア イ
0120-258-931

レッカー移動や
 故障時の応急対応が
 必要な場合には
 JA共済サポートセンター
 レッカーロードサービスは ク ミ ア イ
0120-063-931

フリーダイヤル 携帯電話・PHSからでもご利用いただけます。

フリーダイヤル 携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

電話料金は無料です。公衆電話につきましては、電話をおかけになる時の10円は必要ですが、かけ終わると戻ります。

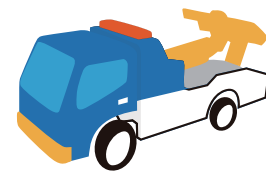



JA共済の安心サービス

1. レッカーサービス

現場から100km以内のけん引が無料！
クレーン作業などの難作業も5万円(税込)まで
JA共済が負担します。

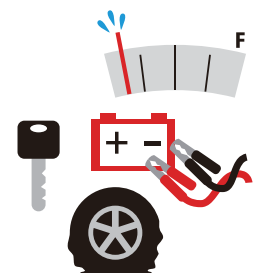
事故または故障により自力走行不能となった場合に、レッカー車で現場へ急行し、最寄の修理工場等までお車をけん引します。横転、路外逸脱等による難作業も対応します。



2. ロードサービス

**30分程度で対応可能な
応急対応が無料！**

故障・ガス欠等により自力走行
不能となった場合に、修理業者
が現場へ急行し、お車の応急
修理を行います。



事前にJAまたはJA共済サポートセンター（JA共済事故受付センター）に要請された場合に本サービスの対象となります。（ご利用者さまの意思に反して、または物理的に不可能であった場合を除き、ご自身で工場等へ直接手配された場合は本サービスの対象外となります。）

※トラブルの状況や手配内容によっては、ご利用者さまに費用のご負担が発生する場合があります。

※ロードサービスについて、30分を超過した場合の超過時間に応じた作業にかかる費用、部品代・オイル代・ガソリン代等の実費は、サービスご利用者さまのご負担になります。

※JAF会員であるご利用者さまについては、ご利用者さまのご了承のもと、JAF共済事故受付センターまたはJAF共済サポートセンターからJAFを手配する場合があります。その場合、レッカーサービスのご利用距離については現場から15キロまでのけん引による費用をサービス対象範囲とします。ロードサービスの作業時間については30分程度で対応可能な応急対応に要する費用に加え、30分を超過した場合の超過時間に応じた作業にかかる費用について5,000円を限度にサービス対象範囲とします。

3. 夜間休日 現場急行サービス

J Aの営業時間外にJ A共済事故受付センター(フリーダイヤル)へご連絡いただいた事故について、対応員が事故現場に急行し、事故状況の聞き取りなどを行います。



※本サービスの受付時間は、平日：17時～23時、土・日・祝日：8時～23時です。
 ※事故現場からお電話いただき、ご利用者さまが現場急行をご希望された事故が対象となります。
 ※原則として、対応員の**出勤拠点から事故現場まで30分程度で到着できることが条件となります**。ただし高速道路上等一部の場所は本サービスの対象外となります。
 ※I.A.共済より業務委託を受けたALSOKの対応員が急行します。

4. 夜間休日 初期対応サービス

J Aの営業時間外にJ A共済事故受付センター(フリーダイヤル)へご連絡いただいた事故について、初期対応専任のスタッフがご利用者さまからの相談対応や相手方への迅速な対応(事故受付の連絡・修理工場への連絡・代車の手配等)を行います。

※本サービスの受付時間は、平日:17時～21時(対応は22時まで)、土・休日:9時～21時(対応は22時まで)です。
 ※**対人賠償事故**(人身傷害事故含む)、**対物賠償事故**、**車両諸費用**除特約の付いた**車両单独事故**が対象となります。
 ※ご契約内容が確認できない場合、既にご加入先のJAの損害調査スタッフが対応中である場合等、本サービスを実施できない場合があります。

5. 休日契約者 面談サービス

JAの営業時間外にJA共済事故受付センター（フリーダイヤル）へご連絡いただいた事故について、休日面談専任のスタッフがご利用者さまを訪問し事故に関するご質問・ご相談に親身におこたえます。

※本サービスの受付時間は、金曜・祝前日：17時～0時、土曜：終日、日曜・祝日：0時～17時です。

※対人賠償事故で、事故の相手方が入院または死亡された場合が対象となります。

※JA共済より、業務委託を受けた休日面談専任のスタッフが対応します。

24時間・365日、事故受付とアドバイス、各種サービスが受けられます。

まちがいさがし

Bのイラストには、Aのイラストと違う部分が5カ所あります。
間違っている部分を右下のイラストの中の数字でお答え下さい。

A



B

出題・イラスト：酒井栄子



8月号まちがいさがしの当選者

8月号のまちがいさがしの答えは「2、7、8、9、11」でした。正解者44名の中から抽選の結果、当選者は次の方々です。

()内は地区名

- | | |
|----------------|----------------|
| ・西島 若葉さま (北 見) | ・間村 美里さま (端 野) |
| ・井上 貴翔さま (端 野) | ・西原 花織さま (上常呂) |
| ・川口 富子さま (相 内) | ・岡村 愛子さま (温根湯) |
| ・今部 幸江さま (留辺蘂) | ・中川 優月さま (置 戸) |
| ・齊藤 麗さま (訓子府) | ・伊藤 蒼馬さま (訓子府) |

以上の方々には、JAきたみらいの「玉葱と牛すじカレー」2箱をプレゼント致します。



応募方法

答えが解った人は、別紙の応募用紙に答え(番号)と広報誌へのご意見・ご感想を記入してFAXでご応募下さい。
抽選で10名の方に、JAきたみらいの「芳醇 玉葱醤油」「北見玉葱焼肉のたれ」をプレゼント致します。

9 月は台風が多いので、竹豆が倒されないか心配です。今年も大粒で真っ白な豆が沢山収穫できますように(^ - ^)

(温根湯地区 仁義 実さん)

6月から8月までいっぱい雨が降ったから、9月は台風まで来てほしくないですね。

せっかく実った貴重な白花生、最後まで色白な美人のままで収穫できることを我々も祈っています。

今 年は寒暖の差が激しく、作物の出来もあり良くないようですが、これから収穫でなるべく口スガ無いように作業したいと思っています。記事は色々な部会の活動報告が楽しかったです。

(端野地区 大森 由美子さん)

今年の気象は高低差が激しく、干ばつと長雨を繰り返す年で作物の作柄が相対的に良くないですね。これから天候が安定して、頑張って育ててくれた作物を無駄なく取り切りたいですね。

各 地域のイベントや交流の記事が興味深かったです。ベジタブルライフはとて勉強になりました。

(訓子府地区 田中 正子さん)

ありがとうございます。8月号にはイベントが盛りたくさんなので、少しずつですが、できるだけ多くの記事を掲載しました。編集部も記事探しに苦労しているので、何か情報があればご一報ください。

あ と2日で高1の夏休みが終わります。来月初めには期末テストです。頑張ります。

(温根湯地区 岩橋 美咲さん)

長いようで、短く感じる夏休みも終了ですか。もうちょっと休みが欲しくなりますね。

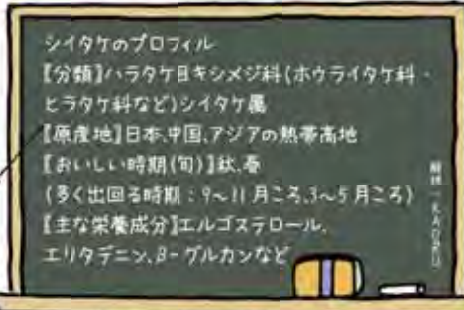
今は2学期制だから、夏休み明けが期末テスト、テスト範囲が広く大変だ。ガンバレ(^ ^) /



シニア野菜ソムリエ
kAORUの

ベジタブルライフ

イラスト：小林裕美子



シイタケのプロフィール
【分類】ハラタケ目キジメジ科(ホウライタケ科・ヒラタケ科など)シイタケ属
【原産地】日本、中国、アジアの熱帯高地
【おいしい時期(旬)】秋、春
(多く出回る時期：9～11月ころ、3～5月ころ)
【主な栄養成分】エルゴステロール、エリタデニン、β-グルカンなど

見分け方



かさが開き切ったり、
傘が茶色く変色して
いると鮮度が落ちてい
るので避ける

かさが開き具合が6～8
割は鮮度が肉厚なもの
かさが薄茶色で傘の
裏が白く張りがある

軸は9割くらい、かさの裏側の
傘の裏側は白色でしかり
と張っているものが良品

同じ大きさなら重み
があるものを選ぶ

パック・袋入り
水滴の付いていないものを選ぶ

乾燥しいたけ
良品はしっかり乾燥して
表面が茶褐色でかさ
の裏の傘の裏が淡黄色

保存方法



生シイタケ
湿気があると傷み
やすいので注意

軸を上に向けた状態で新聞紙やキ
ッチンペーパーで包み、口を開けたポリ袋に
入れて冷蔵庫の野菜室で保存する

冷凍保存期間は約1か月
すぐに使い切れない場
合は、丸ごと、またはかさ
と軸を切り離し、使いや
すい大きさに切り、保存
袋に入れて冷凍庫で冷凍
すると旨味成分が出やす
くなり、味が良くなる

乾燥しいたけ
吸湿しやすいので湿気が入るとカビが生えるため、乾燥
しいたけの入り容器に入れて冷暗所または冷蔵
庫に入れておく

シイタケのチカラ



エルゴステロール
米に当たるとビタミン
B1に変わりカルシウム
の吸収を高める

エリタデニン
生活習慣病予防
血圧を下げたり、コレ
ステロールの代謝を
促して体外に排出

β-グルカン
免疫力を高める

食物繊維が豊富
カルシウムの
吸収を助ける

鉄分が豊富
血液を作る

シイタケ

～和食には欠かせない、うま味成分の宝庫～

楽しみ方・食べ方のコツ



生シイタケ
原木栽培は
葉の部分が
ごみが付いて
いることがあるよ

乾燥しいたけ
洗った後は
湯で洗って水
を絞る

生シイタケ
水で洗うとうま味や風味が落ちてしま
うので、洗わないのが原則。汚れが気
になる場合はお湯などで軽く洗うか、温
水で洗った後、お湯で洗う

乾燥しいたけ
水で洗うとうま味や風味が落ちてしま
うので、洗わないのが原則。汚れが気
になる場合はお湯などで軽く洗うか、温
水で洗った後、お湯で洗う

天気の良い日に干す!

生シイタケも乾燥しいたけ
も、調理前に1時間ほど日光に当てるとビ
タミンDがアップ、うま味も増
すといわれている

乾燥しいたけ(干しいたけ)
軸も食べるので、乾燥しいたけをカット
して調理しよう。干しいたけは、
汁物や炒め物などに

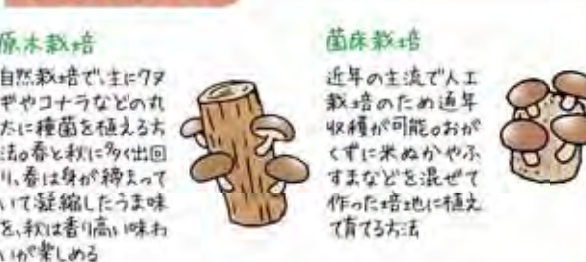
シイタケのいろいろ



原木栽培シイタケ
コナラやクマザサなどの
木を使って栽培した
ものの肉質が締まって
いて香りが良く、風味が強いのが特
徴。菌の生長の良さや風味を高め、
国産の乾燥しいたけのほとんどは原木
栽培のシイタケ

菌床栽培シイタケ
おがくずに米ぬかやふす
まなどを加えて作った
培地で栽培する。日持
ちが良く安定して生産できるのが利点。
栽培期間も短く、低価格で大量生産
可能

シイタケのじみ汁



原木栽培
自然栽培で主にクマ
ザサやコナラなどの木
に菌を植え、自然の力
で菌が生長し、春と秋
に2回収穫。春は身が
締まっていて凝縮した
うま味、秋は香り高い
味が楽しめる

菌床栽培
近年の主流で人工
栽培のため通年
収穫が可能。おが
くずに米ぬかやふ
すまなどを混ぜて
作った培地に菌を
植え、育てる方法



朝ご飯の献立例

- ・きのこたっぷり
和風ハンバーグ①
- ・いろいろきのこの
マリネ②

●献立を監修した人●

茨城県笠間市にある
「キッチン晴人(ハレジン)」
オーナーシェフ
永井 智一(ながいともかず)

① きのこたっぷり和風ハンバーグ

【材料：2人分】

Aハンバーグ

豚ひき肉…300g
タマネギみじん切り…1と1/2個分
塩…5g、おろしショウガ…小さじ1
ナツメグ・こしょう…適宜

Bきのこあん掛け

かつおだし…1と1/2カップ
しょうゆ・酒・みりん…各大さじ2
きのこ(マイタケ・シメジ・ナメコ・エノキタケなど)…100g
水溶き片栗粉…大さじ2、ミツバ…1/2わ

【作り方】

- ①フライパンでタマネギのみじん切りを炒めて冷まし、Aの他の材料を全て合わせてよくこね成形して焼く。
- ②Bの材料を全て鍋に入れて沸かし、水溶き片栗粉でとろみをつける。
- ③①を器に盛り付け、②を上から回し掛け、刻んだミツバをあしらひ出来上がり。

② いろいろきのこのマリネ

【材料：2人分】

シイタケ…2個 オリーブ油…大さじ2
エリンギ…1パック 酒…大さじ2
エノキタケ…1/2パック 塩…小さじ1/2
シメジ…1パック しょうゆ…少々
つぶしたニンニク…1片 パセリ…刻んだ物適宜
たかの爪…1本 レモン…1切れ

【作り方】

- ①フライパンにつぶしたニンニク、たかの爪、オリーブ油を入れ、弱火でニンニクの香りを移した後、お好みに切ったきのこを全て入れ、塩を振りさっと炒める。
- ②①に酒を入れ、ふたをして中火で3～4分蒸し焼きにし、仕上げにしょうゆ少々を垂らす。
- ③粗熱を取ってから保存容器に移し、冷蔵庫で一晩なじませる。
- ④器に盛り付けてパセリを振り、レモンを添えて出来上がり。

編集後記

- ・お盆を過ぎてからグッと気温が下がり、秋の陽気を感じるようになってきました。組合員の皆様におかれましては、収穫作業真っ只中ですね!ケガのないよう、無事収穫作業を終えられるよう願っています。
- ・さて、今月のおひさまサラダでは地域のお祭りやJA主催の見て歩きツアーなど盛りだくさんの内容になっていますので、ぜひ農作業の合間に手に取ってご覧ください! (菊池 光祐)

JAきたみらい概要

(平成30年8月20日現在)

- ・組合員数(正) 1,686人
- ・組合員数(准) 6,347人
- ・組合員戸数(正) 1,008戸
- ・貯金 109,166百万円
- ・貸出金 14,182百万円
- ・出資金 4,900百万円